

令和7年9月9日

中学校長 殿  
柔道部顧問 殿  
チーム代表者 殿

大分県中学校体育連盟  
会長 板井 靖之  
大分県柔道連盟  
会長 穴井 隆信  
(公印省略)

## 令和7年度大分県中学校新人柔道大会の開催について(ご案内)

平素より中学校柔道の振興・発展に格別のご理解とご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

さて、標記大会を下記の通り大分県中学校新人柔道大会を開催しますので、貴チーム(生徒)の出場につきまして、格別のご配慮を賜りますようお願いいたします。

### 記

- 1, 名 称 第50回大分県中学校新人柔道大会・第40回大分県中学校女子新人柔道大会
- 2, 主 催 大分県中学校体育連盟・大分県教育委員会・大分県柔道連盟
- 3, 後 援 公益財団法人大分県スポーツ協会  
大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送
- 4, 期 日 令和7年10月11日(土)～12日(日)
- 5, 日 程

10月11日(団体戦)	10月12日(個人戦)
集 合 8:30	集 合 8:30
計 量 8:45～9:15	計 量 8:45～9:15
監督会議 9:15～9:45	監督会議 9:15～9:45
開 始 式 9:45～	試合開始 9:50～
試合開始 10:00～	表 彰 試合終了後
- 6, 会 場 サイクルショップコダマ大洲アリーナ 柔道場 住所:大分市青葉町1-1  
電話:097-551-1511
- 7, 参加資格 (1)大分県内の中学校またはチームに所属する1・2年生  
(2)参加者は、令和7年度全日本柔道連盟に登録した者に限る。
- 8, 参加制限 (1)団体戦:単一校(単一団体)で編成されたチームとする。  
チーム編成・監督とコーチ各1名、男子は選手5名、補員2名以内、女子は選手3名、補員1名以内とする。  
但し男子3名以上、女子2名以上の選手で出場を認める。  
・オーダーは最も体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成すること。  
・男子で5名に満たないでメンバーを編成するとき、4人編成の場合は先鋒、3名編成の場合は先鋒・次鋒を空、女子で3名に満たない場合は先鋒を空とし、残りを体重順に編成する。  
(2)中学校における監督は、出場校の校長・教職員・部活動指導員とし、教職員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とする。個人戦における監督等については、大分県中学校体育連盟引率細則による。  
併せて監督は、原則公認指導者資格を持つ者とする。

- (3) 地域スポーツ団体等の参加については、「大分県中学校体育連盟主催大会に参加を希望する地域スポーツ団体等の条件」を具備すること。併せて「大分県中学校体育連盟地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格の特例 競技部細則」の条件を満たしていること。

※同一年度内は、年度当初に参加した(登録した)所属チームからの変更を認めない。練習拠点や試合参加に関しても年度当初に参加した(登録した)所属チームで行うこと。

## 9,階 級 個人戦

各階級の体重は次の通りとする。(男子8階級、女子8階級)

<男子> 50kg級(50kg 以下)	55kg級(50kg 超~55kg 以下)	60kg級(55kg 超~60kg 以下)
66kg級(60kg 超~66kg 以下)	73kg級(66kg 超~73kg 以下)	81kg級(73kg 超~81kg 以下)
90kg級(81kg 超~90kg 以下)	90kg超級(90kg 超~)	
<女子> 40kg級(40kg 以下)	44kg級(40kg 超~44kg 以下)	48kg級(44kg 超~48kg 以下)
52kg級(48kg 超~52kg 以下)	57kg級(52kg 超~57kg 以下)	63kg級(57kg 超~63kg 以下)
70kg級(63kg 超~70kg 以下)	70kg超級(70kg 超~)	

## 10, 競技方法 (1) 団体戦

- ① 男女共参加チーム数によりパート数を決め、予選リーグ(3チームリーグを基本)を行い各パート上位2チームにより決勝トーナメント戦を行う。(予選同パートは決勝トーナメント1回戦で対戦しないようにする。)
- ② 予選リーグの順位は、次の方法により決定する。
  - (a) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - (b) (a)において同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - (c) (b)において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - (d) (c)において同等の場合は、負け数の合計による。
  - (e) (d)において同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - (f) (e)において同等の場合は、1名による代表戦(任意の選手)により決定する。
- ③ トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
  - (a) チーム間における勝ち数の合計による。
  - (b) (a)において同等の場合は、勝ちの内容による。
  - (c) (b)において同等の場合は、1名による代表戦(任意の選手)により決定する。

## (2) 個人戦

- ① 男女ともトーナメント方式によって行う。
- ② 得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア=GS)により勝敗を決する。
- ③ 3位決定戦を行う。

## 11, 競技規則 (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」及び国内における「少年大会特別規定」による。

※全中大会申し合わせ事項も含む。

- (2) 勝敗の判定基準は、団体戦・個人戦ともに「一本」「技有」「有効」または「僅差(指導差2)」とする。  
個人戦における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」、「有効」または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導差が2」とする。「指導差が1」以内の場合は、GSにより勝敗を決する。「新たな指導差がついた時点」で試合終了とする。
- (3) 団体戦(決勝トーナメント・予選リーグ)の代表戦は任意の代表とし、個人戦の勝敗の判定基準と同様とする。3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(GS)により勝敗を決する。
- (4) 優劣の成り立ちは、以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」
----------------------------

- (5) 試合時間は、団体戦・個人戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。

(6) 柔道衣にゼッケン(チーム名・名字入り)を次の要領で縫い付けて出場すること。

(書体は太字ゴシック体とする。明朝または楷書でもよい。)

①布地は白とし、サイズは、横30～35cm、縦25～30cmとする。

②名字(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3とする。

③男子は黒色、女子は濃い赤色とし、はっきりと記名する。

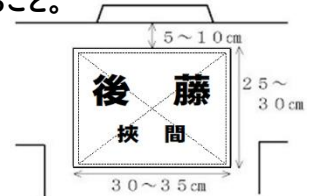
④縫い付ける場所は、後襟の下から5cm～10cm下部の位置とし、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

(7) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖レオタードを着用すること。

なお、Tシャツのマーキングについては、全柔連が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。

(8) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーターを着用して受けること。

(9) 個人戦では、選手の身体的負担を考え、試合終了から次の試合までの間隔を5分間とる。



12, 組合せ 団体戦、個人戦ともに県中体連総務委員会にて、各地区を考慮し抽選により決定する。

13, 参加費 団体戦 男女各 4,000円 個人戦 1人 600円 (当日受付で徴収)

- 14, 申し込み
- (1) 必ず校長及びチーム代表者、記載責任者の押印を行う。
  - (2) 申し込み期限は、令和7年9月22日(月)17時まで必着。以後はいかなる場合でも受付を行わない。
  - (3) 申し込みは、大分県柔道連盟のホームページよりデータをダウンロードして入力し、申し込み用紙を印刷して申込先に送付すると共に、そのデータをメールで申込先に送信する。  
(男子団体は様式1、女子団体は様式2、男子個人は様式3、女子個人は様式4)
  - (4) 郵送(申込)先

〒879-5502 由布市挾間町向原 440 番地 由布市立挾間中学校内 後藤 義治 宛  
学校Tel:097-583-0017 Mail:gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

15, その他 (1) 団体戦出場選手は、11日に計量を行う。(個人計量を兼ねることができる)

個人戦のみ出場選手は、11日団体戦終了後1時間程度計量時間を設ける。

12日(当日計量)は8:45～9:15の間に計量を行う。※個人戦の体重の超過、不足を認めない。

- (2) 柔道衣(ゼッケンを含む)は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(IJF:赤枠 全柔連:赤番号)
- (3) 申し込み後の団体戦の選手変更は、大会前日(10月10日)の午後12時までとする。
- (4) 要項や申し込みについて不明な点は、申し込み担当まで連絡をお願いします。
- (5) 大会参加にあたっては、学校・チーム代表としてふさわしい服装・身なり・行動を心がける。
- (6) 脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。
  - ①大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (7) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。  
感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。  
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (8) 全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を採用する。
- (9) R7県新人戦の結果とR8春季大会(4月開催予定)の結果の合計ポイントで、7月の県総合体育大会のシードチームを決定する。(同ポイントの場合は、春季大会の成績を優先する)

☆以下のポイントでシード校を決定

大会名	1位	2位	3位	ベスト8
県新人戦ポイント	5	4	3	1
県春季大会ポイント	8	7	6	3